

平成26年度認定 (No.72)

# 農業名人

椎茸原木栽培名人 水上 平八郎

昭和30年生まれ 駒ヶ根市在住  
独自の技術で高品質な「椎茸」を生産



7歳のころから父親の椎茸栽培を手伝い、上伊那農業高校卒業後、鳥取大学農学部へ進学。昭和52年に同校を卒業後、父親が手がけていた椎茸栽培とともに農業経営の全般を引き継ぎ、経営拡大を図る。

昭和60年には、駒ヶ根市内や市外の椎茸仲間5人で「信州農興」という販売協業を立ち上げ、独自の販路を築きながら、技術や情報の交換はもちろん、椎茸以外にも米や野菜などの他のグループとの交流を図り、更に林業士の資格を取得するなど、農林業分野全般に積極的活動を行う。

「安心・安全で本物の味の椎茸」づくりを念頭に置き、美味しい井戸水と農薬や科学肥料を一切使用しない原木栽培にこだわり、研究と試行錯誤を繰り返し、多くの苦勞を乗り越え、長野県きのこ品評会農林水産大臣賞を3回受賞するなど、椎茸栽培の技術を極めており、まさに原木栽培の名人である。

平成21年に息子に経営移譲をし、現在は息子の経営を手伝いながら技術や知識を次世代に伝承するため、長野県特用林産振興会の副会長を務めるなど、後継者の育成にも力を注いでいる。

## ◎栽培方針

「美味しいが絶対条件。安心・安全は基本条件」

## ◎特用林産受賞暦

- ・平成2年 全国林業経営推奨行事農林水産大臣賞
- ・平成13年 長野県きのこ品評会農林水産大臣賞 (乾)
- ・平成19年 長野県ふるさとの森林づくり賞  
長野県特用林産振興会長賞
- ・平成20年 長野県きのこ品評会農林水産大臣賞 (乾)
- ・平成21年 長野県きのこ品評会農林水産大臣賞 (乾)
- ・平成22年 原木しいたけ生産者大会 (栃木大会)  
乾・生しいたけ功勞者林野庁長官賞
- ・平成22年 長野県きのこ品評会県知事賞 (乾)
- ・平成24年 長野県きのこ品評会林野庁長官賞 (生)

